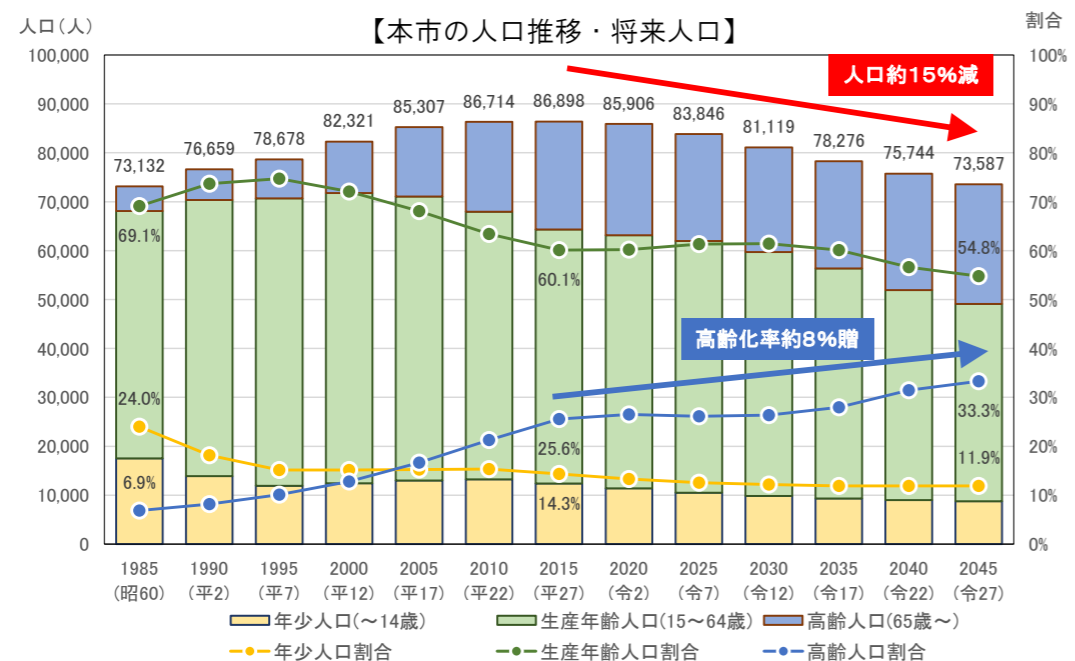


あま市の都市の現況（1 / 6）

1 人口特性

(1) 人口推移

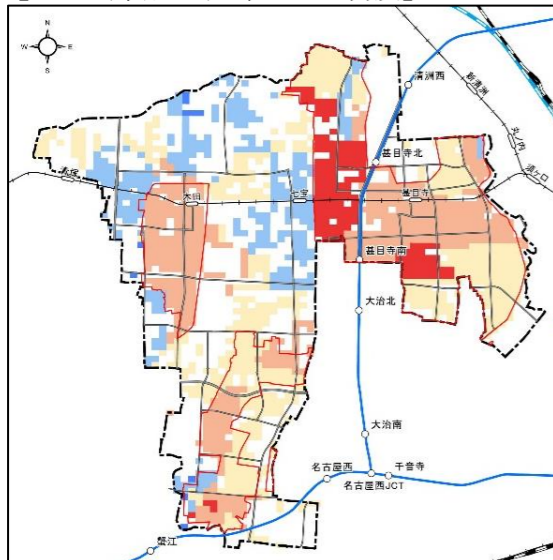
- 本市の人口は、2015（平成 27）年まで増加傾向にあり、ピーク時人口は 86,898 人となりました。しかしながら、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2015（平成 27）年以降は徐々に減少に転じ、2045 年には約 73,600 人とピーク時と比べて約 15%減少すると予想されています。
- また、高齢化率は年々増加傾向にあり、2015（平成 27）年時点では約 26%、2045（令和 27）年には約 33%（推計値）まで上昇すると予想されています。



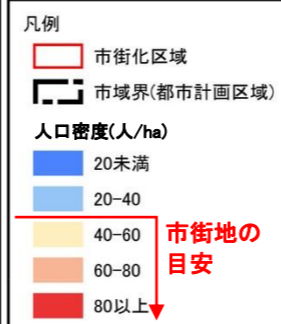
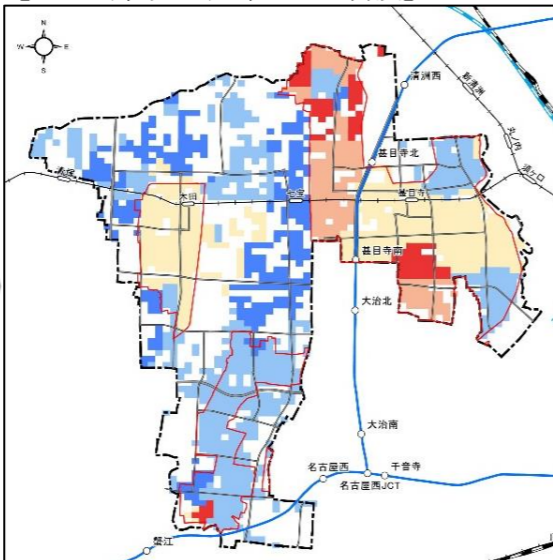
(2) 人口密度

- 本市の人口密度は、2015（平成 27）年では一部地区を除いた市街化区域内において、市街地の目安となる 40 人/ha を上回るエリアが広がっています。
- しかしながら、2045（令和 27）年の推計では、市街化区域の内、旧七宝町のほぼ全域及び旧甚目寺地区の一部エリアで 40 人/ha を下回ることが予測されます

【2015（平成 27）年の人口密度】



【2045（令和 27）年の人口密度】



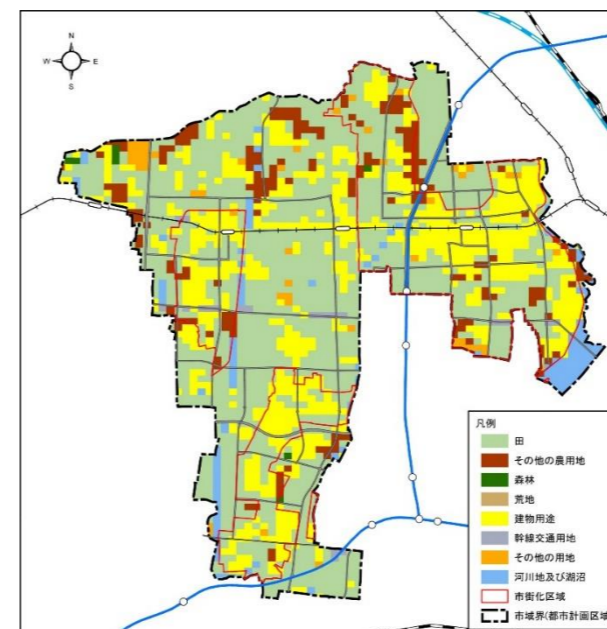
資料：「将来人口・世帯予測ツール V2」（国土交通省 国土技術政策総合研究所）

2 土地利用

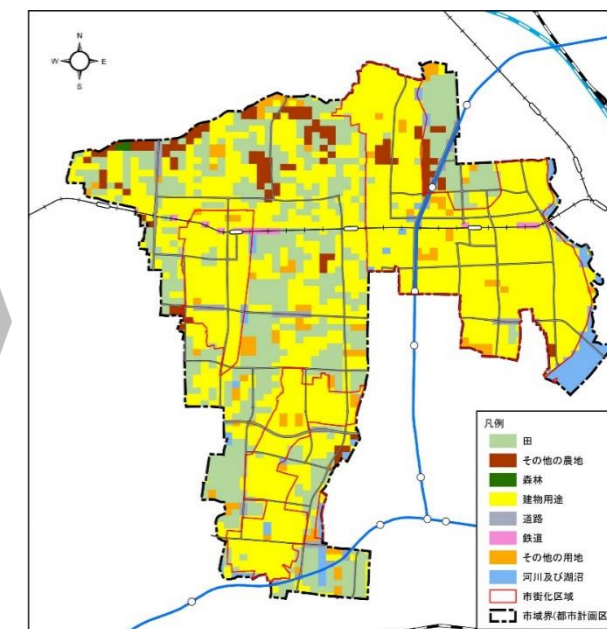
(1) 土地利用の変遷

- 本市の土地利用については、1976（昭和 51）年から 2016（平成 28）年までの 40 年間で、市街化区域の内外に係わらず「田」から「建物用途」に変化しています。

【1976（昭和 51）年の土地利用】



【2016（平成 28）年の土地利用】

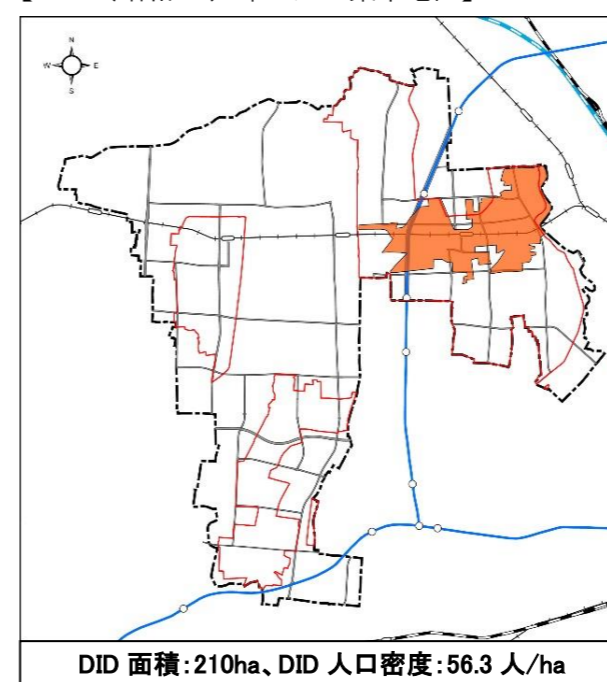


資料：国土数値情報「土地利用細分メッシュ」

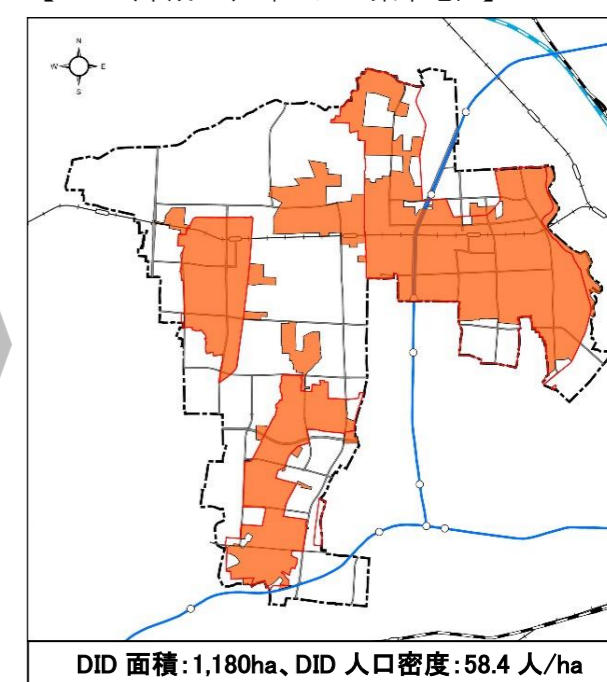
(2) 人口集中地区（D I D）の変化

- 本市の人口集中地区（D I D）は、1970（昭和 45）年から 2015（平成 27）年までの 45 年間で 6 倍近く拡大しています。
- また、D I Dの人口密度は、55 人/ha 前後でほぼ横ばいの状態が続いています。

【1970（昭和 45）年の人口集中地区】



【2015（平成 27）年の人口集中地区】



資料：国土数値情報「人口集中地区データ」

あま市の都市の現況（2／6）

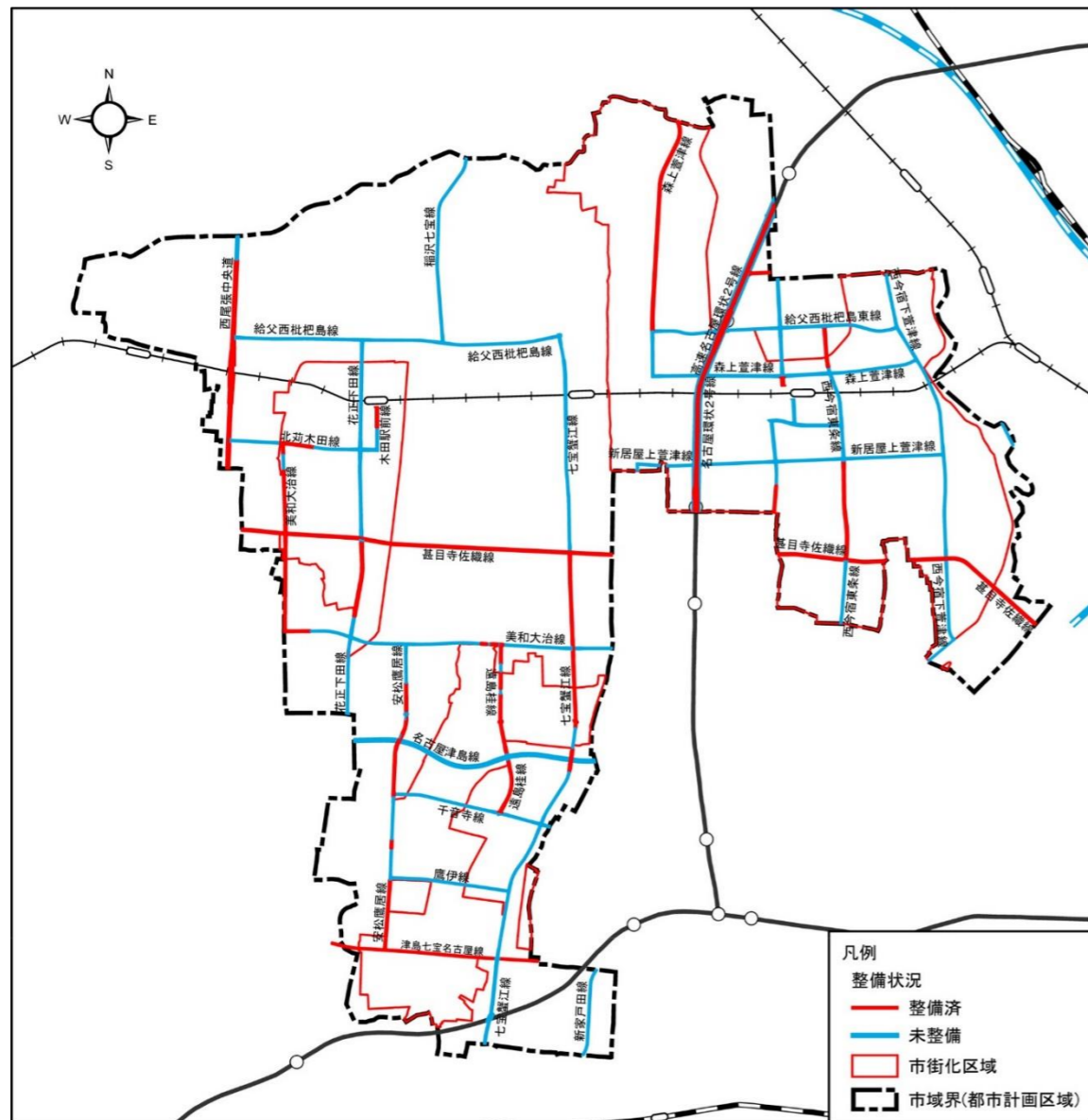
3 都市基盤（道路）

(1) 都市計画道路

○本市の都市計画道路は30路線、58.13kmが都市計画決定されており、整備済延長は全体の約37%となっています。また、整備率が100%の路線は4路線となります。

【都市計画道路の整備状況】

種類	路線数	計画延長 (m)	代表幅員 (m)	整備済延長 (m)	未整備延長 (m)	整備率 (%)
自動車専用道路	1	2,600	—	2,600	0	100%
幹線街路	29	55,530	12~60	18,350	37,180	33.0%
合計	30	58,130	—	20,950	37,180	37%



資料：あま市資料

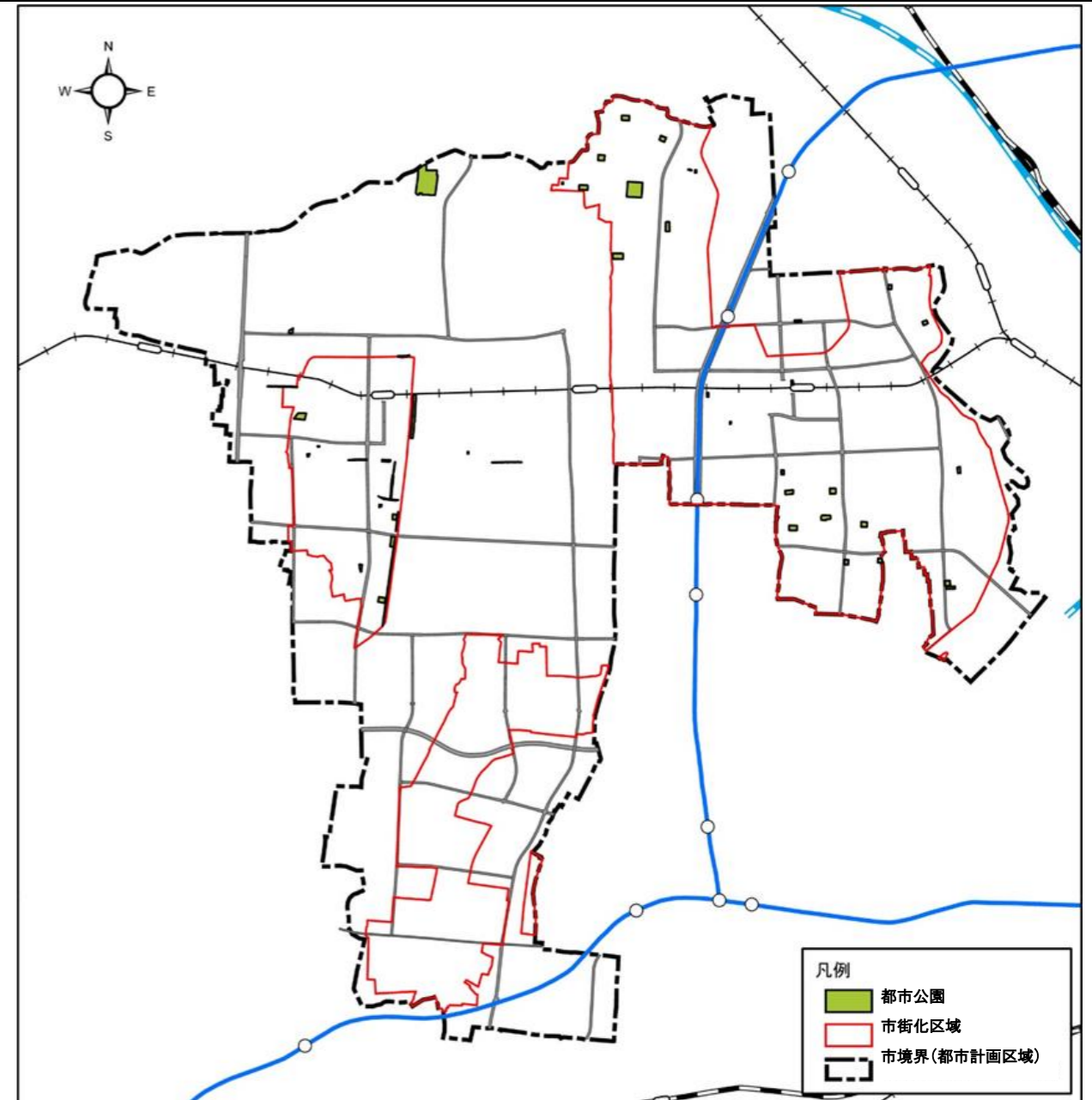
幹線街路：都市計画道路の区分の1つで、主要幹線道路、都市幹線道路、補助幹線道路に分類されます。
 主要幹線道路：都市の拠点間を連絡し、都市内の重要な地域間相互の自動車交通の用に供する道路で、特に高い走行機能と交通処理機能を有します。
 都市幹線道路：都市内の各地域又は主要な施設相互の交通を集約して処理する道路で、都市の骨格を形成します。
 補助幹線道路：主要幹線道路又は都市幹線道路で囲まれた区域内において幹線街路を補完し、区域内の交通を効率的に集散させるための補助的な幹線街路です。

3 都市基盤（公園緑地）

(2) 都市公園

○本市には、都市公園が54箇所整備されており、総面積は約13haとなっています。

		現況								
		市全体			七宝地区		美和地区		甚目寺地区	
		箇所	面積 (ha)	m ² /人	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)
都市公園	住区基幹公園	23	4.92		2	0.27	5	1.15	16	3.49
	街区公園	2	4.93		0	0.00	1	3.42	1	1.51
	近隣公園	25	9.85	1.11	2	0.27	6	4.57	17	5.00
	特殊公園	0	0.00		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	都市緑地	12	1.67		0	0.00	12	1.67	0	0.00
緑道	0	0.00		0	0.00	0	0.00	0	0.00	
広場公園	17	1.36		0	0.00	6	0.10	11	1.26	
都市公園計		54	12.88	1.45	2	0.27	24	6.34	28	6.26



資料：あま市資料

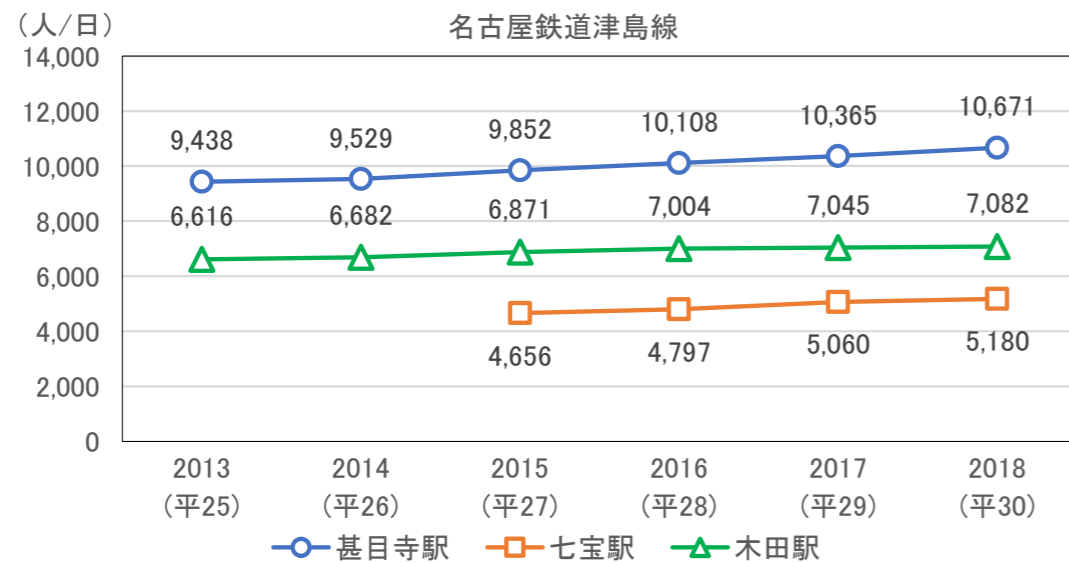
あま市の都市の現況（3／6）

4 公共交通

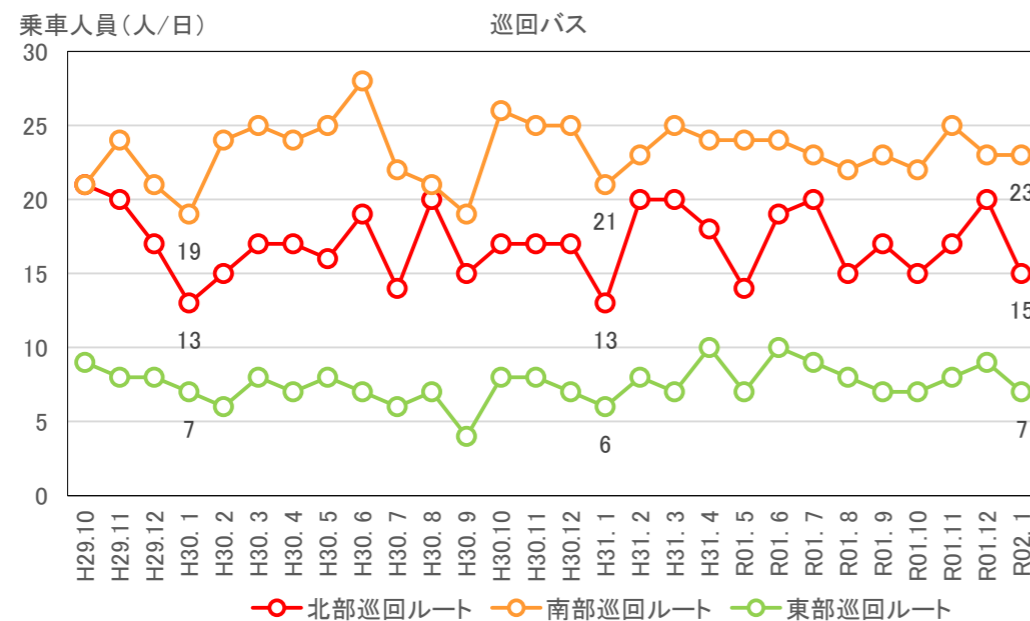
（1）公共交通の利用状況

- 本市の公共交通機関は、市域を東西に横断する名古屋鉄道津島線によって骨格が形成されており、これを補完する形であま市の巡回バスが市内各地を連絡しています。また、市域南部には名鉄バス及び名古屋市営バスが運行されています。
- 名古屋鉄道津島線3駅（甚目寺駅、七宝駅、木田駅）の日平均乗降客数は、ここ数年微増傾向となっています。
- あま市巡回バスは北部巡回ルート、南部巡回ルート、東部巡回ルートの3ルートで運航されており、平成29年10月以降の1日あたりの平均乗車人数は、北部巡回ルートで15～20人/日程度、南部巡回ルートで20～25人/日程度、東部巡回ルートで5～10人/日程度で推移しています。

【公共交通機関の利用者数の推移】



資料：あま市資料



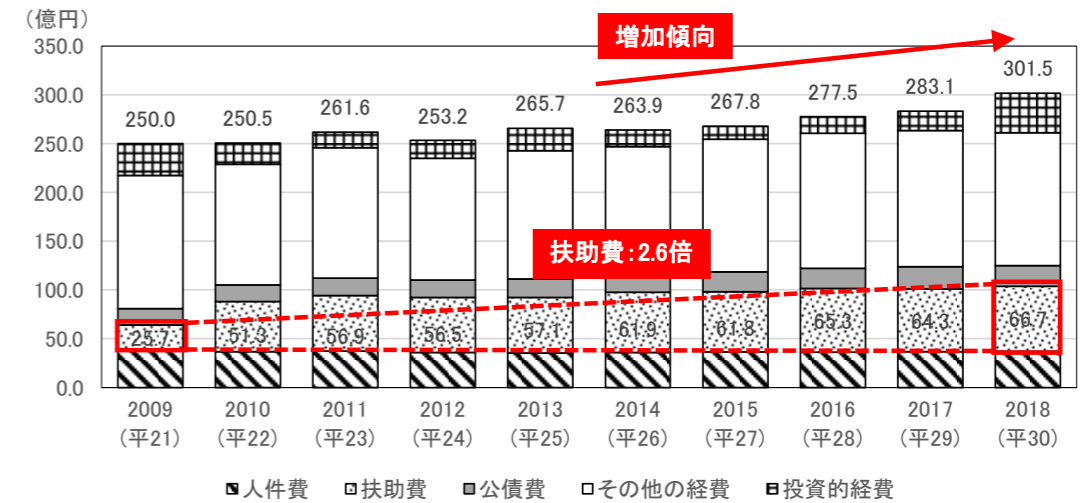
資料：令和元年度第2回あま市地域公共交通会議資料

5 都市経営

（1）歳出

- 本市の歳出額は、ここ5年間で約260億円から約300億円へと40億円程度増加しています。これは、高齢化の進行とともに扶助費が増加（2006年から2018年で2.6倍）していることが一因だと考えられます。

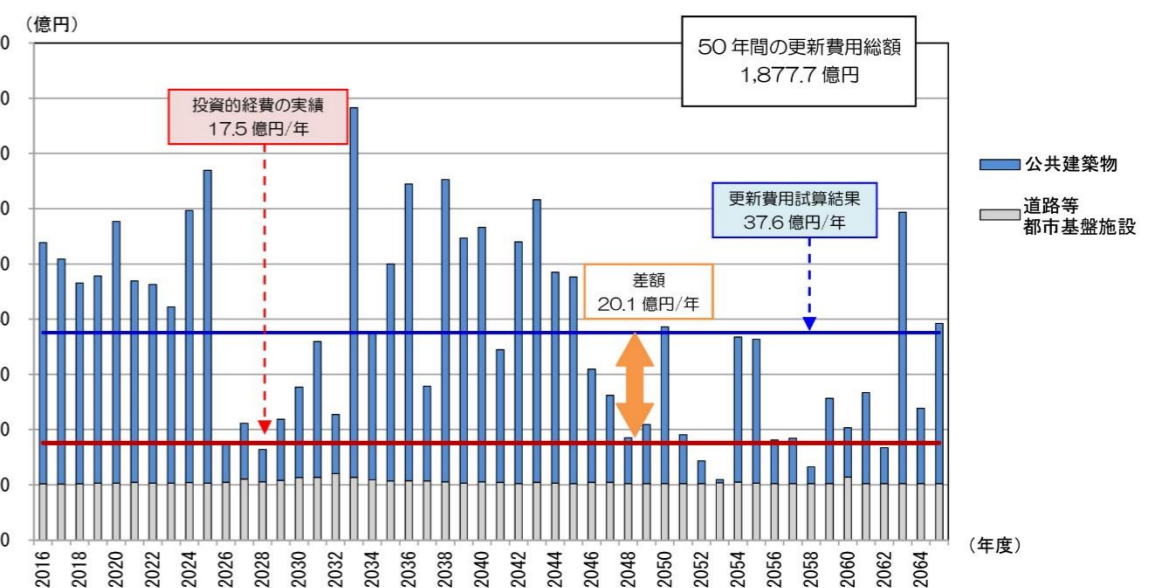
【性質別歳出額の推移】



（2）公共施設・インフラ維持管理費

- 本市の投資的経費（道路や学校、公共施設等の施設がストックとして将来に残るものに支出される経費で、普通建設事業費と災害復旧事業費に区分される）は、2011（平成23）年度から2015（平成27）年度の平均で約17.5億円となっています。
- 一方、2065年度までの50年間の公共建築物及び道路等都市基盤施設の更新費用総額は約1,877.7億円、年平均約37.6億円となり、近年の投資的経費の実績を大きく上回ることが推測されます。

【更新費用の将来見込み（公共建築物+道路等都市基盤施設）】



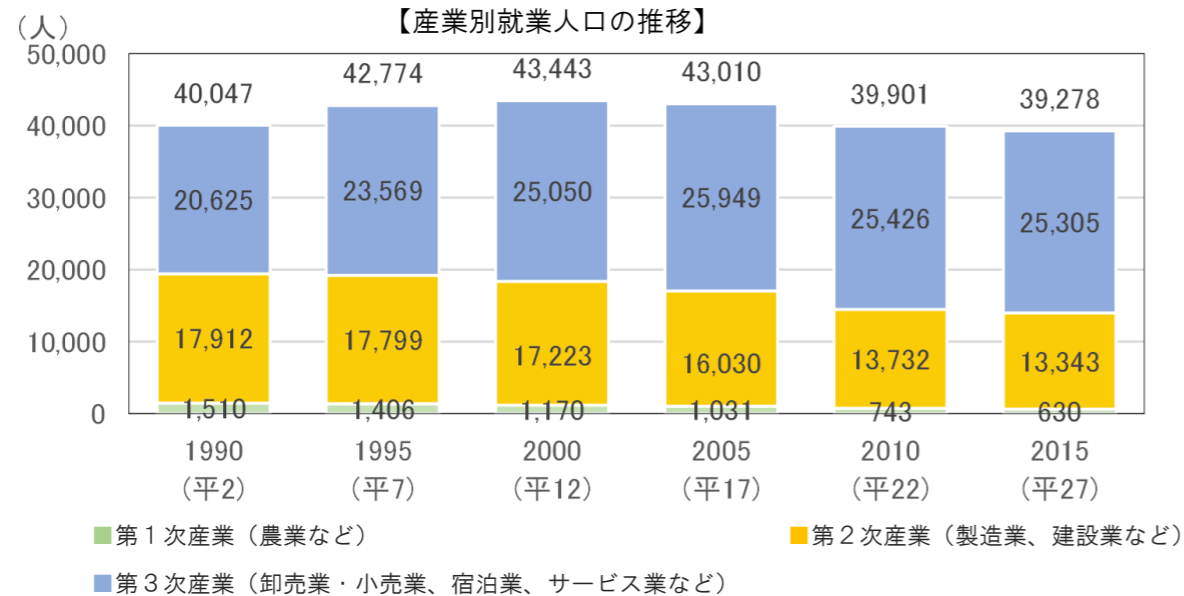
資料：あま市公共施設等総合管理計画（平成29年3月）

あま市の都市の現況（4／6）

6 産業

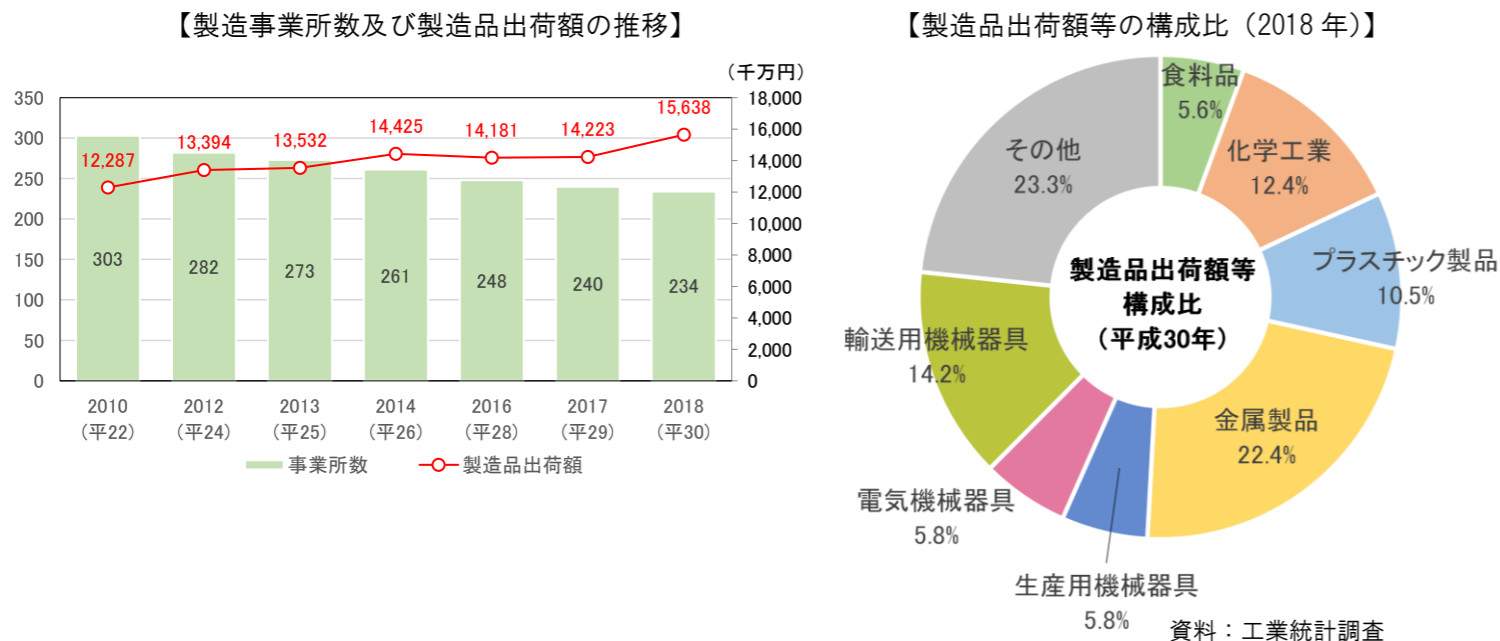
(1) 産業別就業者割合

- 本市の就業人口は、2000（平成12）年をピークに減少に転じています。
- 就業人口の割合は、1990（平成2）年から2015（平成27）年の25年間で、第1次産業（農業など）の就業者数が約58%、第2次産業（製造業、建設業など）の就業者数が約25%減少しているのに対して、第3次産業（卸売業・小売業、宿泊業、サービス業など）の就業者数は約23%増加しています。



(2) 製造業

- 本市の製造業は、事業所数は減少傾向、製造品出荷額は増加傾向にあります。
- 2010年（平成22年）から2018年（平成30年）にかけて事業所数は約23%減少、製造品出荷額等は約27%増加しています。
- 製造品出荷額等の内訳については、金属製品が全体の約22%を占めており、続いて輸送用機械器具が約14%、化学工業が約12%を占めています。

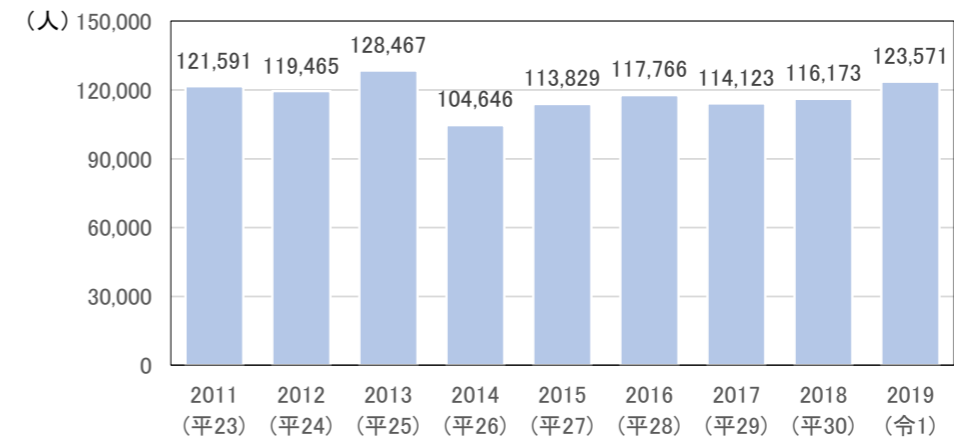


7 観光

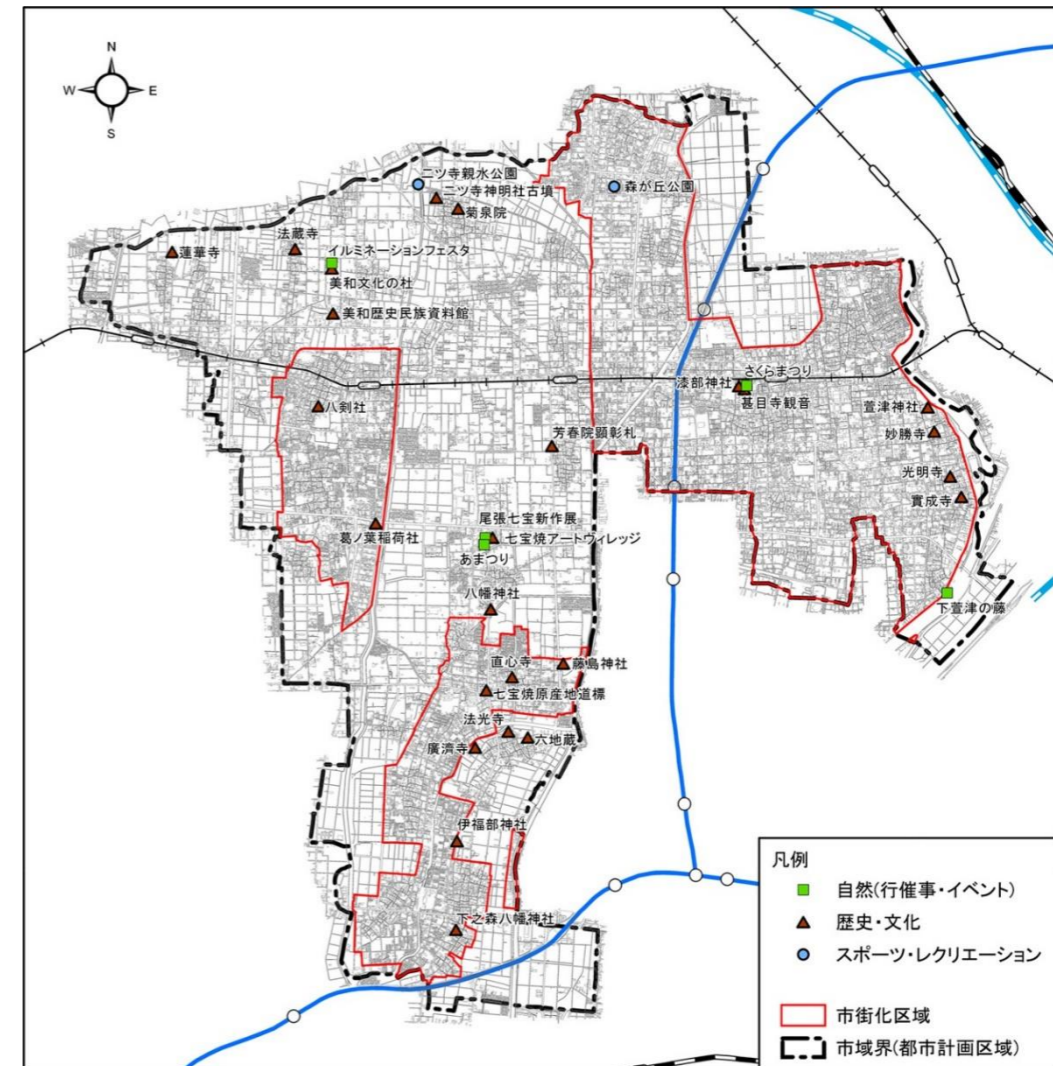
(1) 観光

- 本市の主な観光資源としては、「七宝焼アートヴィレッジ」や「七宝焼原産地道標」といった七宝焼に関する資源があります。七宝焼アートヴィレッジの近年の利用者数は12万人前後で推移しています。

【観光レクリエーション利用者数の推移】



【観光資源の分布】

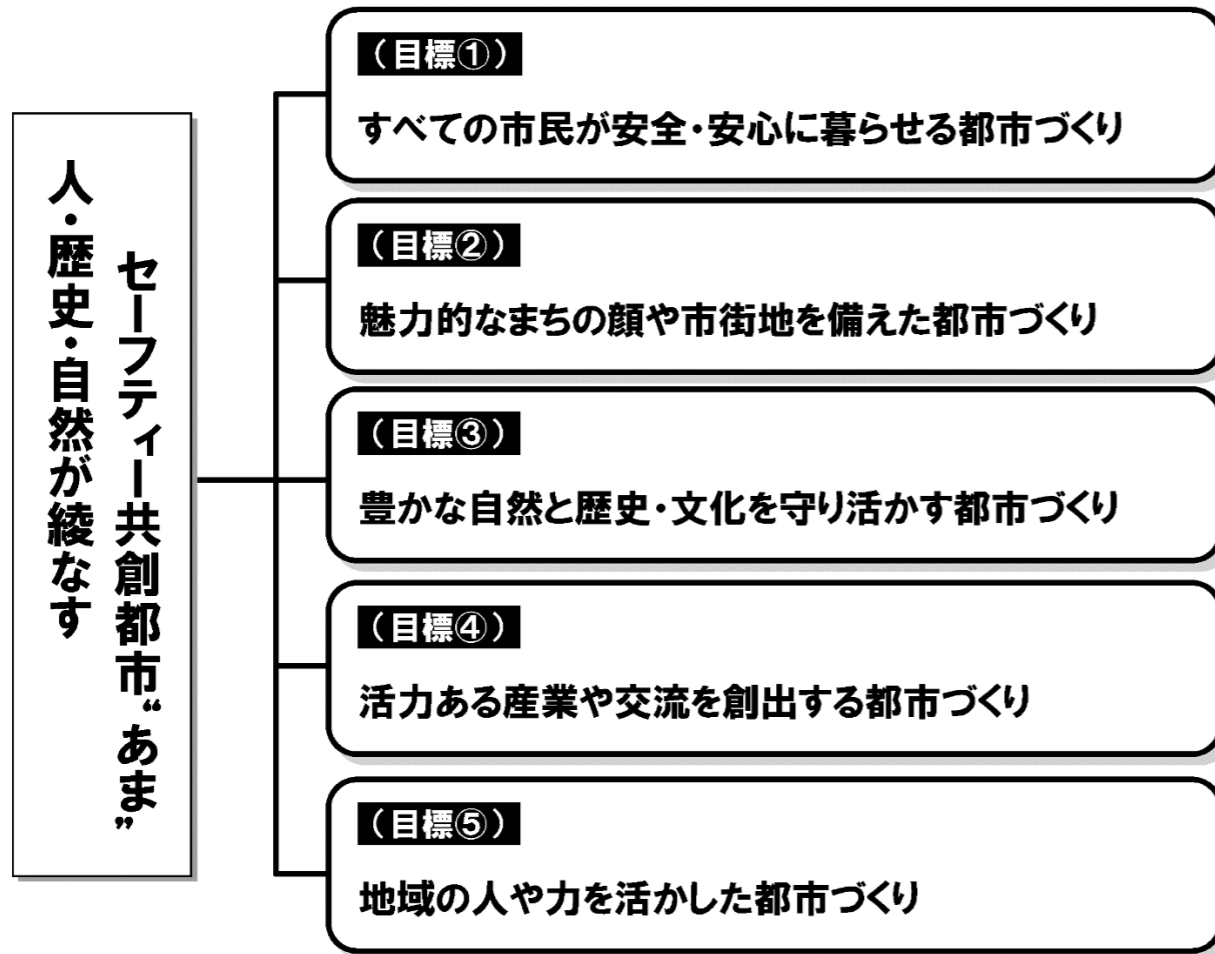


あま市の都市の現況（5／6）

8 現行の都市計画マスタープランの方針

(1) 都市づくりの目標体系

○本市の最上位計画である「第1次あま市総合計画」では、5つの基本目標が設定されているため、現行計画ではその枠組みを踏襲しつつ、都市計画分野の目標として以下の5つの目標を設定しています。



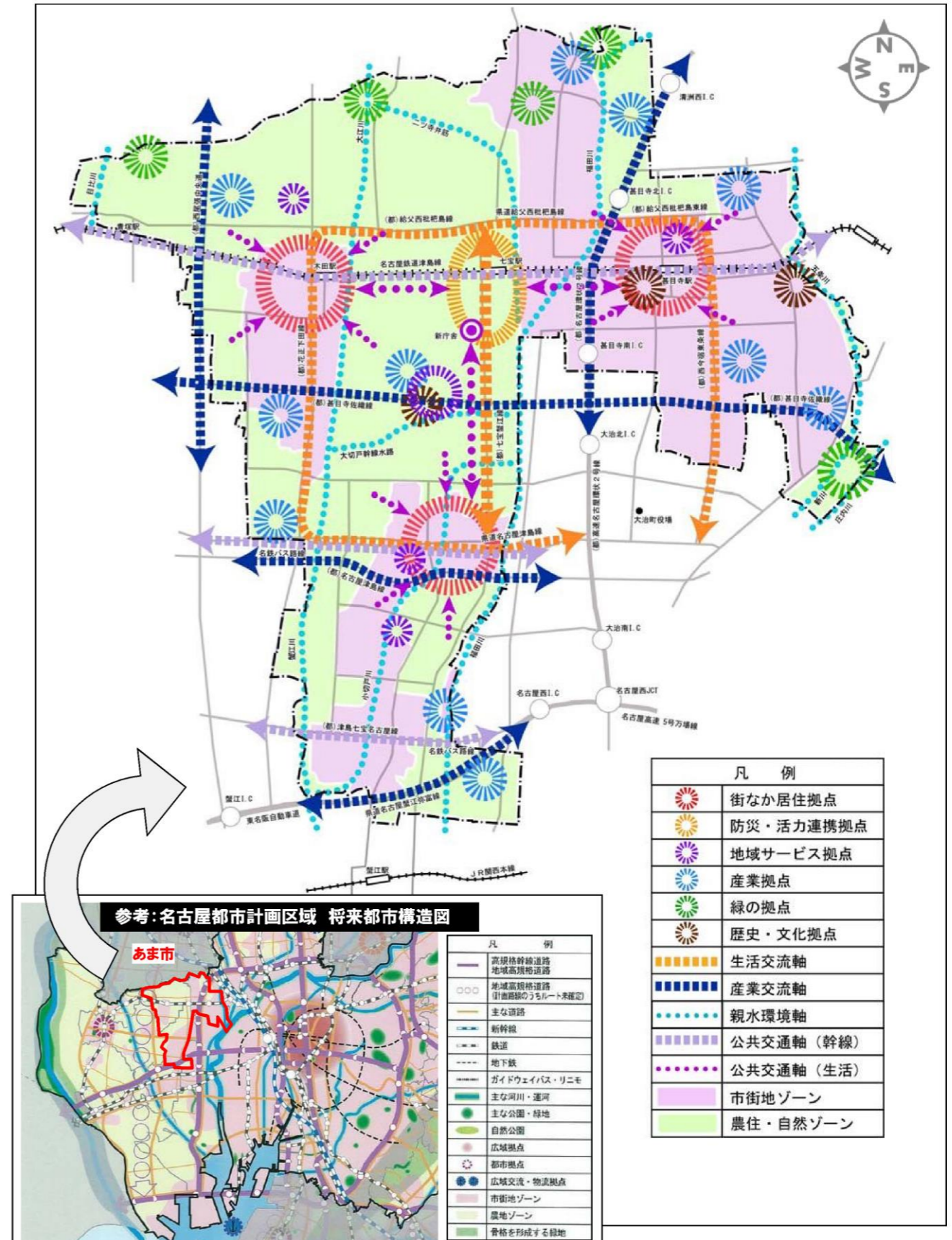
第1次あま市総合計画 基本目標

- ①安全が確保され、安心で快適に暮らせるまち
- ②心身ともに健康で、いきいきと暮らせるまち
- ③郷土に誇りと愛着が持てる、魅力あるまち
- ④自らの力で歩み続ける、活力のあるまち
- ⑤交流と連携による、一体感のあるまち

(2) 将来都市構造

○都市の将来像を実現するために、今後、どんな都市機能を配置し、どんな施設配置や土地の使い方を目指すか、といった基本的な方向性を「将来都市構造」として示しています。（右図参照）

《将来都市構造図》



資料：あま市都市計画マスタープラン

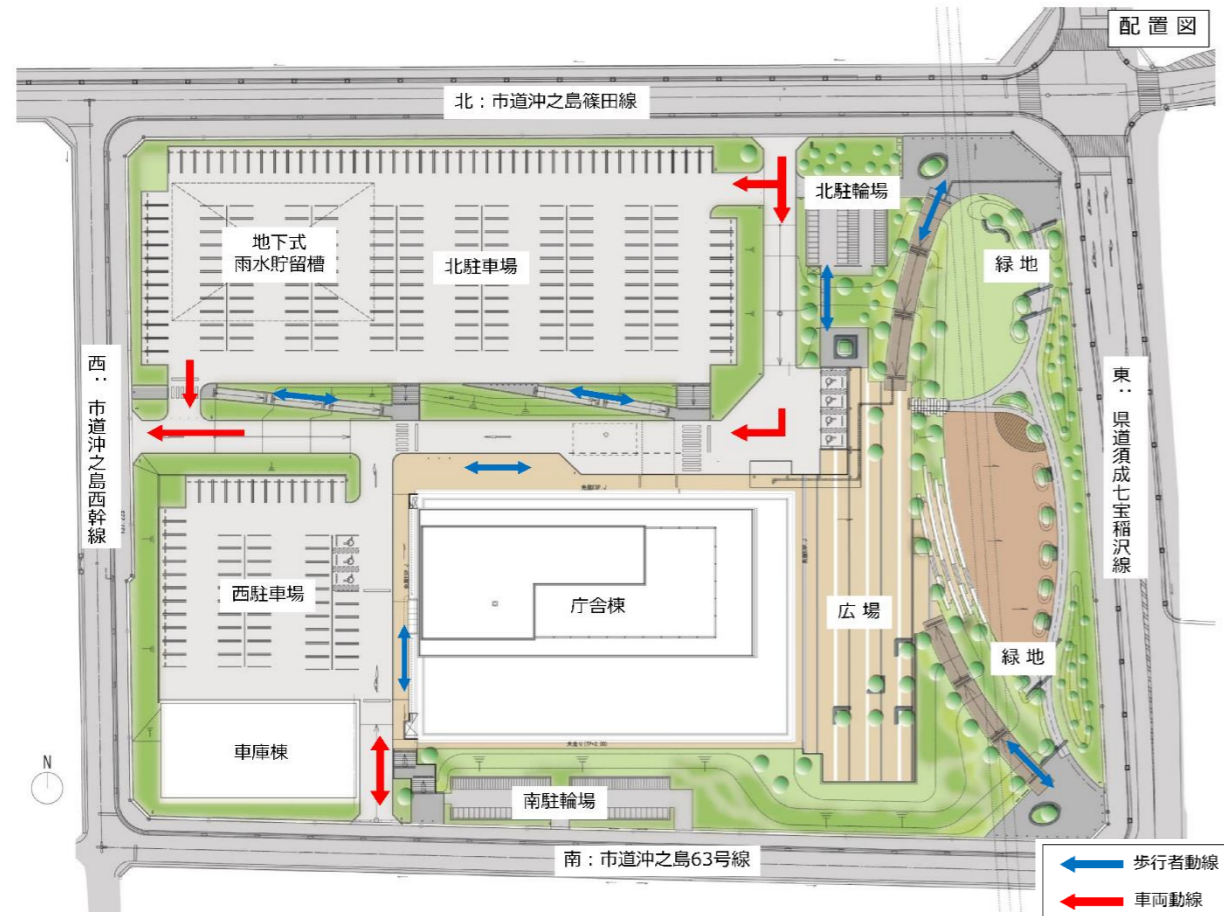
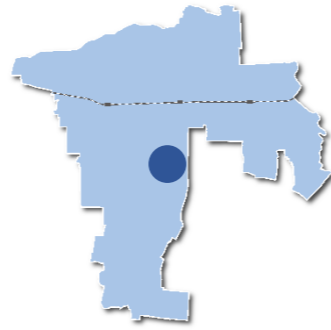
あま市の都市の現況（6／6）

9 現在進めている主要プロジェクト

(1) あま市新庁舎整備

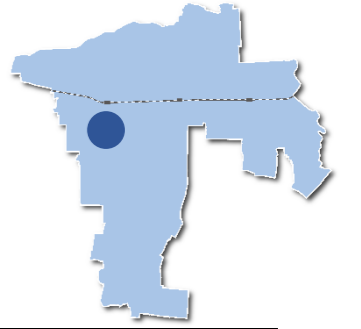
コンセプト・設計趣旨

1. 中枢防災拠点として 市民の安全安心を守る庁舎
2. 行政機能の拠点として 市民が利用しやすい庁舎
3. 市民の交流拠点として すべての人に親しみやすい庁舎
4. 環境と共生する、人にも 自然にもやさしい庁舎
5. ライフサイクルコストに優れた経済的かつ長寿命な庁舎



(2) あま木田郷南土地区画整理事業（施行中）

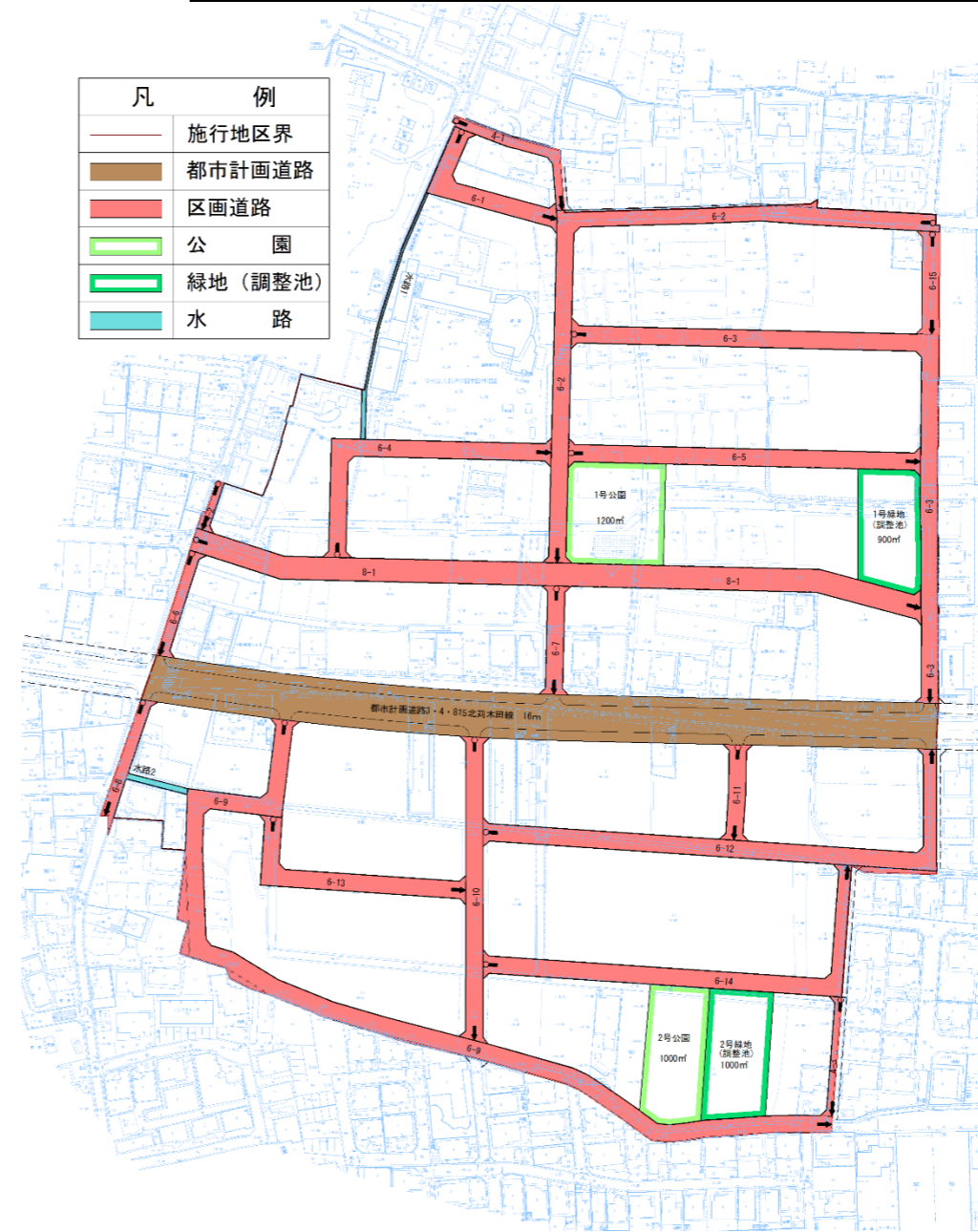
○本市ではこれまで森地区、篠田地区、本郷地区、木田郷西地区、小路地区、七宝三角・柏田地区の6地区で土地区画整理事業が実施（施行済み）され、現在は木田郷南地区で事業が施行されています。



【あま木田郷南土地区画整理事業の概要】

地区名	施行者	施行面積	事業認可日
木田郷南地区	組合	7.3 ha	平成 26 年 8 月 12 日

凡	例
—	施行地区界
—	都市計画道路
—	区画道路
—	公園
—	緑地（調整池）
—	水路



整備済みの区画道路



住宅地の様子



公園整備の様子

あま木田郷南土地区画整理事業設計図